

第5次健やかいきいき甲府プラン（素案）、成年後見制度利用促進基本計画（素案）に対する意見の概要と市の考え方について

No.	意見（概要）	市の考え方
1	<p>【保健計画】(健やかいきいき甲府プラン)</p> <p>①施策9 医療環境の充実について、今回の能登半島地震の発災を教訓に、喫緊の施策と考える。</p> <p>②保健計画 P85(12)体験型食事教育について フードモデル(食育 SAT(サット)システム)とは何か。</p>	<p>①貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございます。今回の能登半島地震や過去の災害における教訓を踏まえ、引き続き関係機関と連携しながら、保健医療救護体制の整備に努めてまいります。</p> <p>② フードモデルとは栄養指導等で活用される実物大の食品模型であり、食育 SAT システムとは、IC タグ内蔵の食品模型を選んでセンサーボックスに乗せると、瞬時に栄養価を計算し、選んだ献立の栄養価や栄養バランスなどの情報が画面に表示される食育教材のことです。より分かりやすい表記となるよう、「フードモデル」の表記を「食品模型」に変更し、用語解説に「食育 SAT システム」の記載をいたします。</p>
2	<p>【高齢者いきいき甲府プラン】(健やかいきいき甲府プラン)</p> <p>①高齢者人口の増加に伴い、単身・夫婦世帯が増加している。特に単身の高齢者は地域との関わりも少なく、市役所等に相談するために出かけることができないため、職員が出向いて相談を受けてほしい。</p> <p>②高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう居宅サービス(訪問介護)に力を入れてほしい。</p>	<p>①本市では、市内 9 カ所に地域包括支援センターを設置しております。ご本人やご近所の方、民生委員等から連絡をいただき、地域包括支援センターの職員が自宅を訪問し、相談や必要な支援を提供する体制を整えております。今後も自治会や民生委員等、地域福祉の推進を担う方々と協働する中で、日頃から連携を図り、早期から必要な支援につなげられるよう取り組んでまいります。</p> <p>②市や地域包括支援センターでは、医療や介護の関係者と連携を図る中で、ご本人がどのような医療や介護を受けたいかなど意思決定支援を行うとともに、訪問介護に限らず必要な支援が提供できるよう、迅速に対応を行っております。今後につきましても、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取組を推進してまいります。</p>

No.	意見(概要)	市の考え方
3	<p>【成年後見制度利用促進基本計画】</p> <p>①基本計画の前半では、成年後見制度について、非常にわかりやすくまとめてあり、成年後見人ができること、できないこともかみ砕いて書いてあり、とてもわかりやすかったように感じました。</p> <p>②成年後見のなり手について、親族の次に市民後見人が列挙してあるのですが、実際に市民後見人は2名しか活動されていないことを考えると、後方に列挙した方がなんとなく座りが良いかなと思いました。(もちろん、市民後見人に沢山活躍していただきたい願望としては上位に記載したいところですので、このままでも構いません。)</p> <p>③基本計画の課題解決に向けた取り組みとして、計画目標2として「成年後見人等にとって、安心して活動できる環境を整えます」とされ、具体的な内容として中核機関の機能充実や地域連携ネットワーク強化がきちんと書かれているのがよいと思いました。令和3年度～令和5年度の成年後見利用促進計画では、まずは成年後見の広報・周知が課題とされ、成年後見の利用しやすさにスポットが当たっていましたが、今回の基本計画では、成年後見人のための環境整備を明示しており、甲府市の成年後見利用促進が新たな段階を目指していることがわかり、期待が持てます。これからの成年後見は、チーム支援が必須となりますが、ご本人の状況によってはチームの組織編成が難しいものや、関係者が少なく、後見人の負担が大きいものもあります。事案に直接かわらずに俯瞰的に見ることのできる中核機関や市がハブとして連携に一役買ってくださいと後見人としてはとてもありがたいです。</p> <p>④中核機関設置一番乗りとして、県内の動きを牽引すべく、今後も柔軟かつ機動的に関係機関の連携を目指して具体的に進めて行っていただけますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>①ご意見ありがとうございます。一般的に成年後見制度は分かりづらいとのご意見もある中で、今回の基本計画では、まずは読み手に成年後見制度の概要をご理解いただくことを念頭に、第1章で制度説明をわかりやすく記載いたしました。</p> <p>②7ページ「成年後見人等の選任について」の列挙順については、親族の次に市民後見人、専門職、法人と続いています。記載の順位については、本プランでの期待度を加味した順位となっております。</p> <p>③中核機関の機能充実や地域連携ネットワーク体制の強化が進むよう、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>成年後見制度の一層の促進には、引き続き広報・啓発にも力を注いで参りますが、それらに加え、深刻化する担い手不足の解消のため、成年後見人が活動しやすい環境整備が重要であると考えております。</p> <p>ご指摘の通り、成年後見はチーム支援が必要であり、円滑なチーム編成のために、中核機関と市が連携して支援して参ります。</p> <p>④ 甲府市では平成31年に県内で最も早く中核機関を設置いたしました。今後も中核市として、本計画に則り、成年後見制度の利用促進、ひいては市民の皆様の権利擁護のために関係機関と連携し尽力して参ります。</p>